

## GBP/CHF (5/28) デイトレ向き通貨ペアは、デイトレの勝ち組戦略で



### コメント

先週の値動き＝行って来い。月曜日150pipsほど下げた後、ポンド買戻し。ただ、金曜日は100pipsほど上下した後、下落して引けた。

今週の指標＝英指標では木曜日のGFK消費者信頼感調査が重要か。ただ、注目の米指標もあり、ボラティリティが高いことが予想される。

テクニカル＝GBP/CHFはアンケートによると一部人気ある通貨ペア。ただ、日足を見て分かるように25日線をまたいで基本、方向感がない通貨。月足で見ても2005年以降、ほぼ横ばい。スウィングや長期は難しい。ただ、過去100日間の値幅を見ると、1日約118pips動いており、値動きは大きい。デイトレ向きの通貨。

### テクニカル・レート

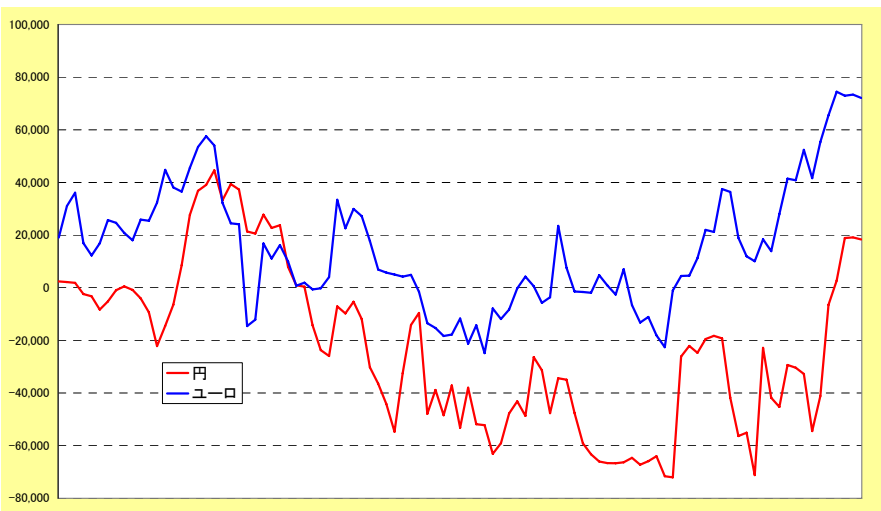
25日動平均線 = 2.2746CHF

先週始値 = 2.2830CHF  
先週高値 = 2.2781CHF  
先週安値 = 2.2859CHF  
先週終値 = 2.2672CHF

### 今週の投資例

デイトレの勝ち組は、ひまわり証券インタビューでも分かったが、「**基本的なチャート分析から、1日の取引時間3-4時間で10回程度、20pt程度の利幅を狙う**」売買をする模様。

## 投機筋ポジションは動意薄、今週は金利より米指標に注目

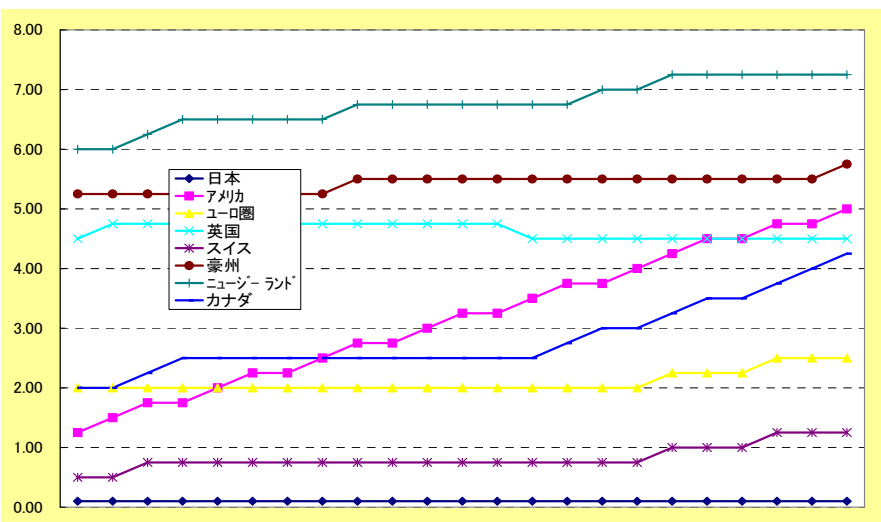


### IMM投機筋ポジション動向

5月23日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の買い持ちは約1.8万枚。先週より約0.1万枚縮小した。23日の終値は112.05円。直近26日の終値は112.64円。やや縮小か。

一方、ユーロの買い越しも先週より約0.1万枚縮小し、約7.2万枚。23日が1.2793ドル。26日が1.2736ドル。やや縮小か。

総じて、投機筋の動向から見ると、方向感に乏しい相場が続いていた模様。ドル買戻しの印象も強いが、「行って来い」の相場が続いただけで、投機筋は大きくドルを買い戻してはいない模様。



### 各国金利動向

先週は、24日(水)に、カナダBOC政策金利が利上げ。それを受け、加ドルは対円対ドルともに続伸。101.84円、1.1058ドルで引けている。

左図を見て分かるように、世界的に利上げが続いている。日本だけは据え置き継続も、いつ上がるかに注目が集まる。

今週は5月31日(水)に、米FOMC議事録がある。その後、木曜日に米ISM製造業景況指数、金曜日に米雇用統計。金利動向よりも、米指標に影響を受けそうな相場となりそうだ。